

## 公害の歴史から持続可能な社会を考える

### 1. 開催趣旨

今回のシンポジウムでは、宮崎県高千穂町土呂久地域において、かつて生じた公害（鉱害）が及ぼした地域住民や鉱山で働く労働者への影響について、差別、貧困、分断という視点から、改めて考察することを目的としています。

また、土呂久鉱山の公害は、決して過ぎ去った過去の問題ではなく、現代社会においても見られる共通の問題（差別、貧困、分断）を示しています。持続可能な社会を達成するために、これらの問題をどのように乗り越えていくのかを、このシンポジウムで考えます。

2. 主 催 公害発生過程にみる地域住民の貧困と分断に関する研究会

3. 日 程 2024年3月2日(土) 13時00分から15時30分まで

4. 場 所 野口遵記念館 フリースペース A (延岡市役所向かい)

### 5. プログラム

時間	内容
12:30~13:00	受付
13:00~13:10	あいさつ・趣旨説明
13:10~13:25	第1報告 『企業主義的開発と公害、貧困』 県立広島大学 准教授 志賀 信夫 氏
13:25~13:40	第2報告 『公害に関わる労働者の問題』 九州保健福祉大学 准教授 日田 剛 氏
13:40~13:55	第3報告 『公害問題から考える地域福祉の課題』 県立広島大学 講師 伊藤 泰三 氏
13:55~14:10	第4報告 『公害が引き起こした分断とその流れ』 大谷大学 准教授 鎌谷 勇宏 氏
14:30~15:30	パネルディスカッション 司会 佛教大学 准教授 孔栄鍾 氏
15:30	閉会

6. 参加対象 テーマに関心・興味のある方

7. 費 用 無 料 ※参加申し込み等は必要ありませんので、ご自由にお越しください。